

2018年（平成30年）11月14日

次世代ITインフラシステムの導入について

当社では、現行の社内ITインフラシステムのサーバおよび社員用パソコン搭載のOSサポートが2020年1月に終了を迎えるのを契機として、2018年度から2ヶ年計画（ステップ1～3）で、次世代ITインフラシステムを導入することにいたしました。

この導入にあたっては、単純なシステムの置き換えではなく、社員一人ひとりが働き甲斐を感じられるよう仕事の進め方や諸制度等を抜本的に見直す目的で進めている“働き方改革”や“業務創造推進プロジェクト”を支援、実現し、かつ経営基盤を中長期的に強化するためのツールとしての次世代ITインフラシステムの構築を目指しています。

これにより、当社は、社員意識、企業風土の変革を醸成し、さらなるお客様サービスへの向上に努めてまいります。

1. 次世代ITインフラシステム導入の概要

(1) 導 入

単純なシステム更新ではなく、業務創造推進プロジェクトのワーキンググループにおいて当社のあるべき姿を議論した結果、社員同士が“「いつでも」「どこでも」「だれとでも」→「つながる」”をキーコンセプトに、情報通信技術（ICT）を駆使したITインフラを新たに採用することにいたしました。

(2) 内 容

現行のITインフラシステムは、固定電話、ノートパソコンと有線回線での社内ネットワークシステムとなっていますが、これを社員1人に対しモバイル端末1台およびスマートフォン1台を配布し、一部を除いて固定電話、有線回線は撤去します。

(3) 展 開

①ステップ1（平成30年度）

本社、東北・関東支社の非現業部門社員を対象にモバイル端末とスマートフォンを導入する。また、スマートフォン経由で社内接続（リモートアクセス）するため必要となるネットワーク工事を実施します。

②ステップ2・3

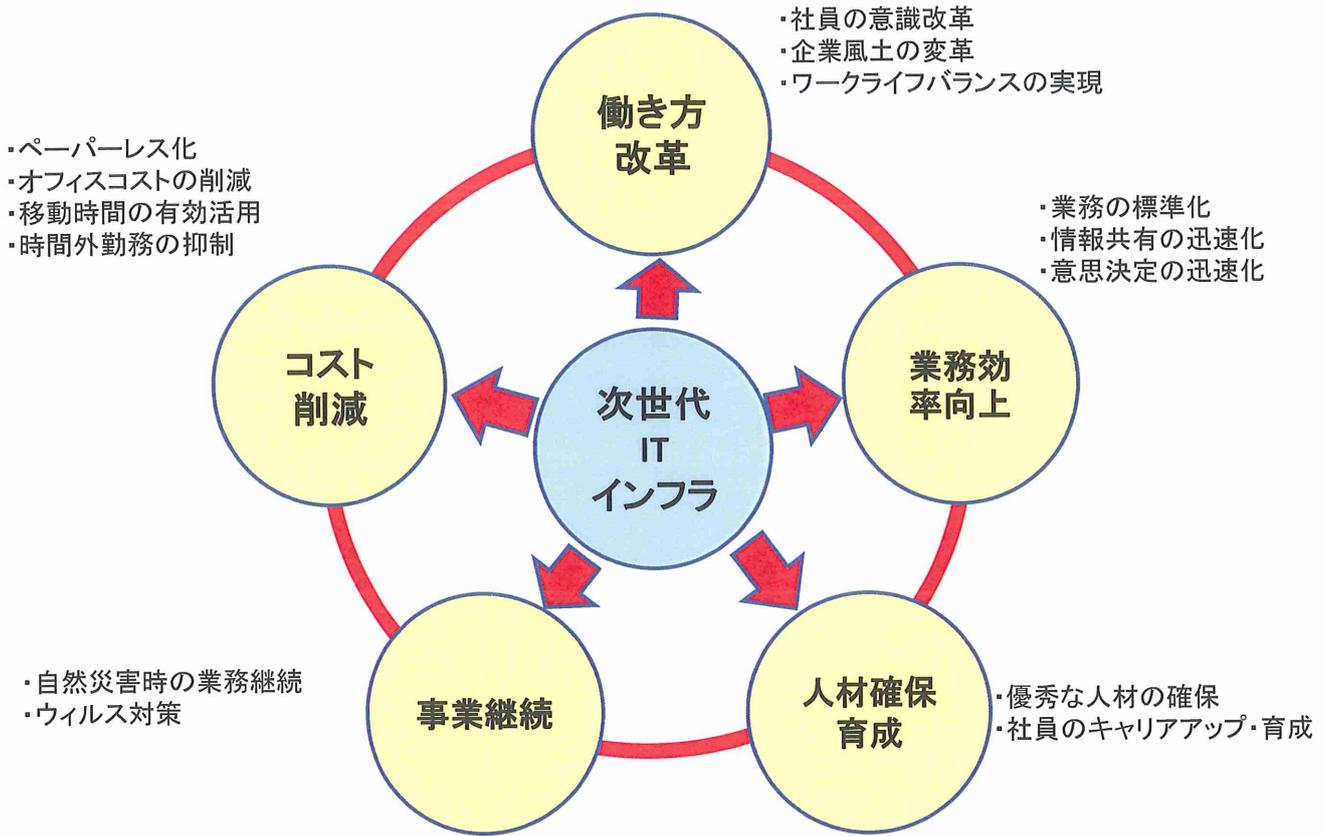
ステップ1で先行導入した結果と導入規模・効果を検証した後、段階を経て全国展開を目指す予定です。

2. 刷新の効果

- (1) 端末・機器の更新等簡素化
- (2) 既存アプリケーションプログラムの更新や機能拡張等への対応
- (3) 社員の意識改革、企業風土の変革の醸成、ワークライフバランスの実現
- (4) 社内コミュニケーション力の強化
- (5) 情報共有・意思決定の迅速化
- (6) 業務効率向上
- (7) コスト削減
- (8) 事業継続

3. 次世代ITインフラシステム概要図

別紙1をご参照ください。



1

次世代ITインフラシステムのイメージ

- ・各個人にスマホ及びモバイルPCを貸与
- ・端末・プリンタなど全て無線接続に変更

- ・情報セキュリティの向上
- ・全端末からテレビ会議に参加
- ・場所に囚われない業務の遂行

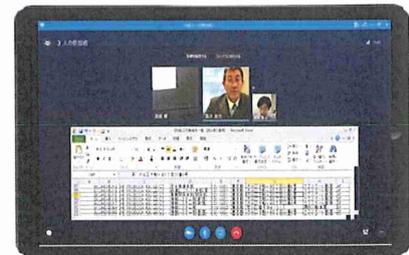
個人貸与

社員に
スマホ+モバイルPC

外付けディスプレイ
(デスクワーク社員のみ)



TV会議イメージ



共用機器

部署代表スマホ

業務端末/プリンタ/複合機も
無線化



2